

平成 31 年度

区民参画組織 麻布を語る会 麻布地区政策分科会 プレ分科会

議 事 要 旨

開催日時	平成 31 年 4 月 24 日（水） 18:30～20:30
開催場所	麻布地区総合支所 2階 第3会議室
参加者 (敬称略)	<b>【分科会メンバー：19名】</b> 大竹、岡本、鍵谷、片岡、河又、金原、小池、小島、古平、胡、佐々木、高橋、中村、橋本、馬場、堀山、峯崎、唯是、吉松 <b>【事務局：4名】</b> 鈴木（協働推進課長）、板橋（地区政策担当係長） 遠藤、上村（協働推進係）
概 要	1 開会 2 自己紹介 3 平成 31（2019）年度 麻布地区政策分科会の運営について 4 港区の概要 5 港区基本計画・麻布地区版計画書（地域事業）の概要 6 その他
配付資料	資料 1 平成 31（2019）年度 区民参画組織 麻布を語る会 麻布地区政策分科会の運営について 資料 1-2 港区麻布地区総合支所区民参画組織麻布を語る会設置要綱 資料 2 港区基本計画・麻布地区版計画書の見直しに向けた提言書（平成 29 年（2017 年）3 月） 資料 3 港区基本計画・実施計画（概要版） 資料 4 港区基本計画 麻布地区版計画書
事務局	<b>【会議経過】</b> <b>1 開会</b> （協働推進課長挨拶） （配布資料の確認）
事務局	<b>2 自己紹介</b> （事務局紹介・委員自己紹介）
委員	<b>3 平成31（2019）年度 麻布地区政策分科会の運営について</b> （説明） ・資料1と別紙のスケジュール、資料1-2、麻布地区版計画書を用いて麻布地区政策分科会の運営等について説明。 ・提言式の様子、分科会（グループ討議や全体での情報共有）の動画上映。 （分科会経験談紹介） 麻布地区政策分科会の委員になったからといって、立派な意見を言わなければならないわけではなく、一区民として、感じたことをそのまま発言してほしいです。他の委員の意見を参考にし、啓発されながら意見をまとめることに、独りではできない充実感と満足感がありました。 分科会の各回ごとにまとめがあり、話し合う時間が短くなるため、事前に

送られてくる会議資料は、事前に目を通し、自分なりに整理しておいた方が  
良いと思います。また、可能であれば、地域事業の様子を自分の目で見て、  
疑問に感じることを持って会議に参加すると良いと思います。

委員

地域のつながりに関わりたいと思っていた時にたまたま事務局からメンバ  
ーの募集案内が届いたことがきっかけで、麻布地区政策分科会委員となりま  
した。当初は、昨年度のような区政や麻布地区版計画書等の勉強会がなく、  
事業に関する事務局からの詳しい説明等がありませんでした。また、委員か  
ら出る意見が多岐に渡り、意見の整理をする人が誰もいませんでした。今で  
は、勉強会も開催され、分かりやすい運営に改善されています。それでも、  
実際に討論するにあたって分からないことがたくさんあると思うので、経験  
者や事務局に遠慮なく質問していただければサポートできます。

来年にオリンピックも控え、在住者だけでなく来街者も楽しめる街づくり  
の実現に向けてどのような政策があるか等を検討するのも良いと思います。

委員

麻布地区政策分科会の委員となって、少し港区や麻布地区について知った  
と実感しています。参加された委員の方には、政策を上から見守るのではな  
く、地域事業等に実際に参加し、麻布を好きになってほしいと思います。ま  
た、それに対して意見を言っていただければ良いと実感しています。

委員

座長として統括してきた経験から申し上げますと、委員の皆さんに楽しん  
で参加していただくことが一番大切だと思っています。麻布地区政策分科会  
のキーワードは、「参画と協働」であり、区政に不平・不満を言う場ではあ  
りません。また、個人個人の思想主義や政治理念の議論をする場でもありま  
せん。委員としての2年間に、麻布地区に暮らす人や訪れる人のために実践  
したいことや推進したいことを考えていただき、皆様のご意見が区政に役  
立つという気持ちで参加していただくと、2年後に満足感や充実感を得られ  
ます。同時に、行政の限界や課題が見つかると思います。

委員の皆様が持つ知見や知恵を出し合い、議論し、切磋琢磨してよい提言  
をまとめていきたいと考えています。

#### 4 港区の概要

事務局

(説明)

《港区の概要》

- ・港区は東京23区のほぼ中央に位置。
- ・区の面積は20.37平方キロメートル。
- ・人口は平成31年1月1日現在で25万7千426人。
- ・平成31年度の当初予算は1,883億円を計上。

《港区の5つの地区について》

- ・港区では、平成18年4月に区役所・支所改革を行い、5つの各地区に「総  
合支所」を設置、「総合支所制度」という組織体制は港区政の特徴。

##### 【芝地区】

東京タワーが象徴的な地区ですが、増上寺・旧芝離宮庭園などの江戸  
由来の寺社や史跡、虎ノ門・汐留のような再開発エリアや新橋・芝公園  
といったオフィス街も芝地区に位置しており、伝統的なものと先進的な  
ものが共存しているエリア。

##### 【麻布地区】

アートのまち（国立新美術館、森美術館、サントリー美術館と合わせ

てアートトライアングルと呼ばれている)、都内有数の繁華街である六本木や老舗の名店が軒を連ねる麻布十番商店街を有するとともに、区内82か所の大使館のうち50か所が立地するなど、グローバルな文化が共生しているエリア。

#### 【赤坂地区】

神宮外苑のイチョウ並木は紅葉風景が大変美しく、また、ファッションビルや人気ブランドの店舗が立ち並ぶ青山通り、緑豊かな赤坂御所などが区域内に位置し、多彩な華やかさを併せ持つエリア。

#### 【高輪地区】

通称「プラチナ通り」といわれる外苑西通りには高級感あふれるお洒落なお店やレストランなどが立ち並ぶ、一方で、赤穂浪士で有名な泉岳寺や三田の寺町といった歴史的な建造物や、白金台の郷土歴史館、自然教育園、庭園美術館などの穏やかな自然空間など、暮らすための様々な理想を兼ね備えた落ち着いたエリア。

#### 【芝浦港南地区】

お台場海浜公園では、東京オリンピック・パラリンピックでトライアスロンや水泳競技の開催が予定、ベイエリアを中心とした高層マンションの建設によるファミリー層の増加など、多様な人々が共に活動し、にぎわいにあふれるエリア。

#### 《港区の人口の推移》

- ・平成21年に約22万人であった人口は、平成31年1月1日現在、25万7千426人、約3万6千人増。
- ・区の人口は、全ての世代において増加、特に子どもの人口が増加している。毎年約3000人の子どもが生まれ、平成29年の合計特殊出生率は1.42で23区のなかで上位。
- ・国内にある大使館の半数以上が区内に立地、区内の外国人人口は、平成31年1月1日現在2万人を超えている。外国人比率は7.8%で全国的に見ても高い割合。

#### 《港区基本構想・基本計画》

- ・平成14年12月に第3次の基本構想を策定。区の将来像として「やすらぎのある世界都心MINATO」を掲げ、「かがやくまち」「にぎわうまち」「はぐくむまち」の3点を軸に構成。
- ・港区基本計画は、「港区基本構想」に掲げる将来像「やすらぎのある世界都心MINATO」を実現するために、区が取り組むべき施策や方向性を具体的に明示。計画の策定あたっては、区民で構成される会議体、通称「みなとタウンフォーラム」の提言や、区民説明会及びパブリックコメントによる意見を可能な限り反映。
- ・計画策定から3年目の折り返しにあたる平成29年度に中間見直しを行い、平成30年度から32年度までが現行計画の期間。
- ・見直し後の計画では、「港区ならではの地域共生社会の実現」に向けて6つの重点課題を設定。
- ・港区基本計画・実施計画の内容は、配布資料「港区基本計画・実施計画（概要版）」を参照。

## 5 港区基本計画・麻布地区版計画書（地域事業）の概要

（説明）

《麻布地区の概要》

- ・位置等：区の西部に位置し、面積は3.79km<sup>2</sup>、区全体の18.6%。
- ・地形的な特色：台地や低地など起伏に富み、多くの坂がある。
- ・江戸時代から寺町や武家屋敷が立ち並ぶ閑静な地域で昔の面影を残す街区が残されている。一方、都内有数の繁華街である六本木や老舗の名店が軒を連ねる麻布十番商店街を有するとともに、区内82か所の大使館のうち50か所が立地するなど、グローバルな文化が共生しているエリア。
- ・人口：増加傾向、平成31年1月1日現在61,218人。2020年度の推計値は63,853人、その翌年には区内5地区の中で最も多い65,318人になると予測。外国人は、平成31年1月1日現在7,647人、外国人比率は12.5%。

《港区基本計画・麻布地区版計画書について》

- ・港区基本構想で掲げる将来像を実現するため、区が取り組むべき施策や方向性を具体的に明示したもの。
- ・全区的な分野別計画と5地区の総合支所ごとに作成する地区版計画書で構成。地区版計画書にはそれぞれの地域の実情や特有の課題について、その解決の方策などを盛り込んでいる。
- ・麻布地区総合支所では、地域の課題を地域で解決し、地域の魅力をより高めていくために、独自に取り組む事業（地域事業）を中心とする港区基本計画・麻布地区版計画書を策定している。

《地域事業について》

- ・麻布地区の将来像：生活者優先の、安全で安心して快適に住み続けられる国際・文化都市～地域そして世界へつながる“AZABU”をめざして～
- ・麻布地区の地域事業：「かがやくまち」（街づくり・環境）、「にぎわうまち」（コミュニティ・産業）、「はぐくむまち」（福祉・保健・教育）の3つの分野別に9つの地域事業を展開。

### ① かがやくまち（街づくり・環境）

【六本木安全安心プロジェクト～ルール違反ゼロの六本木へ～】

地域の方々と協働により制定した“まちのルール”「六本木安全安心憲章」を誰にでも分かりやすいルールとして周知浸透させていくため、普及啓発活動や町会・自治会、商店会、事業所との協働によるキャンペーン活動などを実施。

【「地域と事業所」防災連携プロジェクト～更なる共助体制の構築をめざして～】

事業所の防災力の向上と、災害時に地域と事業所が一括に連携できるネットワークを構築する目的として、事業所向けの講演会の実施や、区ホームページで情報発信を強化していくことで、会議に出席しなくても情報共有できる取組を実施。

【みんなでエコっとプロジェクト】

子どもたちを対象に、知る、見る、体験するというを通じ、自然環境や生き物を大切にすることを育んでもらうことを目的として、自然環境やリサイクルに関する取組を行う事業所と連携し、バードウォッチングや生き物観察、自然散策などをテーマに親子がみずから考えて学ぶことができワークショップを実施。

② にぎわうまち（コミュニティ・産業）

【みんなでまちをよくする「ミナヨク」】

地域に愛着を持って活動を行う次世帯のコミュニティーリーダーを発掘・育成し、新しい地域のつながりを構築していくことを目的とし、20代から40代の方を対象に、地域との連携を含めた講座の開催や、講座の卒業生との交流会を実施。

【AZABU WORLD FESTA】

国際色豊かな地域の特色を生かし、外国人をはじめ、子どもから高齢者まで世代を問わず好まれるスイーツ等と麻布地区の文化・歴史資源をめぐりながら楽しめるイベントを実施。イベントの実施にあたっては、これまでの地域の人材を活用するとともに、麻布地区の商店会や企業、大使館などと協働し、外国人でも気軽に参加可能な周知方法を工夫し、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。

【麻布未来写真館～次世代へつなぐ麻布の記憶～】

麻布地区の歴史やまちの移り変わりを、写真を通して伝えていくことで、地域へ共感や愛着を深めてもらうということを目的としている。区民参画組織 麻布を語る会 麻布未来写真館分科会が主体となって活動。

③はぐくむまち（福祉・保健・教育）

【地方交流事業】

自然や農業、伝統文化などを体験できる、地方との交流事業を実施することで、子どもたちの健全な育みを促し、他自治体への関心が深まる取組を実施。地域イベントの際に特産品の販売を行うほか、交流事業実施時に現地児童との交流を図るなど、双方向の交流事業とする。

【地域サロン～ちょこっと立ち寄りカフェ～】

高齢者が誰でも気軽に立ち寄り、「ふれあい・憩い」と「いきがい・自己啓発」の場である地域サロンを実施し、他の地域事業等を交流できる機会を設けることで様々な世代の参加を促す。運営に携わる地域ボランティアの養成も実施。

【麻布の魅力探訪事業～あざぶ達人ラボ～】

区民等が麻布地区の歴史や文化などの魅力を知り、知ったことを次世代へ語り伝えていくことで、地域への関心や愛着を深めてもらうことを目的とし、麻布の歴史や文化などの魅力を伝える公開セミナーやまち歩きを実施することで、区民の皆さんに対し麻布の魅力を学ぶ機会を提供。

（質疑応答）

委員  
事務局

「あざぶ達人倶楽部」という事業はまだ継続しているのか。  
「あざぶ達人倶楽部」から事業名称を「麻布の魅力探訪事業～あざぶ達人ラボ～」に変更、内容を拡充して継続している。

委員  
事務局

「ミナヨク」の話を非常に興味深く聞いていたのですが、「おつかい大作戦」ではどのようなことをされているのですか。

委員  
事務局

おつかい大作戦はミナヨクを修了された方々が、月1で開催しており、実際に自分のお子さん、小さいお子さんが初めてのおつかいをするのにアークヒルズの広場を使って、ひとりでおつかいをするのを支援するという内容です。昨年度は、何を目的にどんなことをされたのかを教えてくださいませんか。昨年度、他地区は特に活動をしていませんが、麻布地区だけは、区政や麻

布地区版計画書等を学ぶ場として1年間活動が続けて、引き続きメンバーの皆さんが今年度提言を作成するにあたり役立てていただけるように、勉強会を行っておりました。

## 6 その他

(次回日程の確認・行政からの情報提供)

事務局

次回の日程のご案内です。次回、第1回分科会は令和元年5月16日(木)、場所は麻布区民協働スペースになります。次回からは昨年度から引き続きで委員になられている15名も出席します。

申込み時に、麻布地区総合支所協働推進課からの通知をメールで受信希望とされた方には、開催通知はメールで送信。メールを希望されない方は郵送します。

4月25日(木)に、地域事業の「六本木安心安全プロジェクト」を、午後2時から3時まで六本木交差点周辺で行います。啓発活動として、ティッシュの配布と清掃活動を行います。

また、地域SNSアプリの「PIAZZA」をご紹介します。こちらは地域コミュニティの活性化を目的とした、地域のイベントを共有ができるアプリとなっておりますので、ご活用いただければと思います。

(質疑応答)

委員

次回に向けてということで2点質問があります。本日いただいた資料は毎回持参する必要はありますか。また、万が一欠席する場合、連絡はどのようにしたらよろしいですか。

事務局

本日配付した資料のうち、麻布地区版計画書はお持ちいただければと思います。また、分科会をご欠席される場合はメールでも電話でもかまいませんので、事前に事務局にご連絡ください。

また、本日お配りした参考資料「MINATO CITY ここからはじまる物語」と「港区政策形成支援データ集」は、港区のいろいろな情報がまとまったものになっていますので、お時間があるときに目を通していただくと今後の活動に参考になるような内容も載っているかと思います。また、資料2「港区基本計画・麻布地区版計画書の見直しに向けた提言書」は、平成28年度、前回の提言式の様子を本日皆さんに見ていただきましたが、その時にまとめた提言書になりますので、このようなことを1年間かけてまとめていくのだなというイメージで、参考にご覧いただければと思います。

事務局

本日は事務局からいろいろ多岐にわたりに説明させていただきましたので、一度に理解していただくのはなかなか大変ではないかと思っております。今年度の分科会は来月5月16日からスタートしますので、本日の資料はお持ち帰りいただいてご覧いただき、不明な点がございましたら次回以降の分科会やメール、お電話等で遠慮なくご質問いただければと思います。

それでは、これもちまして、麻布地区政策分科会プレ分科会を終了いたします。ありがとうございました。

以上